第 2015-42 号

恵みと真理のニュース

2015 年 10 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証]　GNTC 創作ミュージカル“携挙”見て感動を受け、怠けていた信仰生活が変わって礼拝と奉仕を熱心にするようになりました

私の親は篤実な信仰で神様と教会を支えました。そのような親をついて私も子供の時から教会で多くの時間を遊んで過ごしました。神様が誰なのか救いの意味も知らなくてなぜ礼拝を捧げるか知らなかったですが遊び場のように教会が好きで時間を過ごすのが楽しかったです。私が小学校１年生になる時、親は御言葉の恵みに渇いて恵みと真理教会で移しました。そして、私も初めて神様を信じ支える信仰の意味を知るようになりました。今までは教会をただ遊び場だけだと思っていましたが教会学校で段階的に信仰教育を受けながら、なぜ、神様に礼拝を捧げて聖書を習うべきか知るようになりました。主日になると私が先に教会へ行く準備して以前と違って友達と遊ぶより神様の御言葉を習うことにもっと興味を持つようになりました。親ももっと熱心に奉仕しと伝道をしました。しかし、思春期になり勉強と友達などの問題で葛藤と悩んで信仰生活にも危機が来ました。私の周りの友達の家出と学校を辞めるなど否定的なことが起きて幼いときは知らなかった世の楽しみと誘惑に落ちてしまい、礼拝して御言葉を習う喜びを忘れました。親をたくさん苦しめました。

私のため親と先生は切に祈りました。神様の助けと恵みが望んで思春期が過ぎて神様に対する信仰と愛が回復されました。神様は私に福を下さり軍隊で軍宗兵になり続けて信仰生活をするようになりました。除隊した後、神様は真実な姉妹に出会わせて信仰ある信実な姉妹と結婚するように恵みを与えてくださいました。そして、私達の夫婦にきれいな赤ちゃんもプレゼントでくださいました。以前は平日礼拝より世の様々な事が優先でしたが神様が与えて下さる恵みに感謝して一時期平日礼拝も熱心に捧げました。しかし、時間が経って主日礼拝だけ参席し、奉仕するのを愚かにしました。神様から多くの恵みを受けたにも関わらずすぐ恵みを忘れて形式的な信仰生活をするようになりました。そんな私が的に信仰成長して常に感謝し、熱心に礼拝を捧げ主を仕える聖徒に変えました。GNTCミュージカル“携挙”公演がきかけになりました。

私はGNTCミュージカルを毎年休まずに見ました。しかし、今までは聖書に書いている御言葉を目で見ることが出来て良いと思うだけでした。救われた確信を持って心では神様に感謝するくらいでした。しかし、今回ミュージカルは違って大きい衝撃を受けました。

私は今まで御言葉の中心で生きると思いましたが。現実では科学をもっと重要して目に見えるのだけを感じながら生きて来たことを悟りました。自分も知らずに世俗的な生活に生きて来た姿を見ました。ミュージカルで私と似ている“エンディ”という人物を見ながら自分の人生を振り替えてみて反省し、神様の前で悔い改めました。　特に大学に通うときが思い出して恥ずかしかったです。“今週教会に行かないと来週に行けばいいのだろう”と思って“今楽だから年取ってふけるとその時から頑張って信仰生活をすれば良いと思ったことが恥ずかしかったです。一人暮らしをする時には教会に行くのも辞めた時もあります。劇中でエンディの生活が私と似ているところが多かったです。エンディの生活を見ながら“私もそうだった。私がエンディだったな”と思って恥ずかしくてどう天国に行って主の前で立つのか、天国の喜びを感じられるかとたくさん考えました。続けるシーンを見ると心が痛かったです。残っている者の痛みと悲しみ苦痛、愛する家族と離れる全てのシーンがとても衝撃でした。

今まで妻と子供は教会に行っても私は忙しいといい訳をして平日礼拝も参席しませんでした。しかし、ミュージカルを見た後、変わりました。熱心に家族と共に平日礼拝も参席するようになりました。特に水曜礼拝に参席して当会長牧師の聖書講解で大きい恵みを受けました。神霊な知識が増え信仰も深くなりました。ミュージカルを見た後、こんなこともありました。東アジアのサッカ大会がある日、韓国と日本の試合が水曜日７時３０分にありました。私はその日が水曜日であることを忘れて家族と楽しく試合を見て応援しようと思いました。

どころが急にミュージカル“携挙”公演で見たシーンが急に思い出しました。ディクの家族がサッカーを見るため教会に行かないシーンでした。私は瞬間すぐ心を変えました。“サッカーは後で教会に帰って来てから再放送を見たり結果だけ確認すれば良いと思ったら心が楽になりました。試合の中で特にサッカーが好きだった私にとっては驚くな決断でした。ミュージカル“携挙”は私に深く感動と恵みを与えてくれました。ミュージカル“携挙”を通して自分の信仰を確実に見て反省しながらどう信仰生活をするべきか確実に知るようにないました。救われた聖徒で礼拝を捧げるのは当然で最優先するべきだし、若い時もっと力を尽くして教会と聖徒のため仕えて時代的に緊迫性を持ち、伝導しなければならないと悟りました。そして、する悟ったことを実践するようになりました。

恵み溢れる GNTCミュージカルを与えてくださった神様に感謝し、またこのような神霊と生活に驚くな変化と恵みが望まれるように祈ります。熱心に企画して練習しているミュージカル団員達にも苦しみと献身に真の感謝します。ミュージカル俳優とスタッフの全ての人々にも感謝します。この証を通して親にも感謝します。親のおかけで始めた信仰生活が今私にとっては大きい福であることを知り、今まで弱かった私のため祈ってくださった愛が感じられます。親が教会の奉仕など熱　心さを見習ってすばらしい遺産を子供達に譲るため力を尽くします。全ての神様に栄光を捧げます。ハレルヤ！

“だから、目を覚ましていなさい。いつの日、自分の主が帰って来られるのか、あなたがたには分からないからである。このことをわきまえていなさい。家の主人は、泥棒が夜のいつごろやって来るかを知っていたら、目を覚ましていて、みすみす自分の家に押し入らせはしないだろう。”（マタイの福音書２４：４２，４３）

“忍耐についてのわたしの言葉をあなたが守ったから、わたしも、地上に住む者たちをためすために、全世界に臨もうとしている試錬の時に、あなたを防ぎ守ろう。 わたしは、すぐに来る。あなたの冠がだれにも奪われないように、自分の持っているものを堅く守っていなさい”（黙示録　3：10,11）

“これらの起ろうとしているすべての事からのがれて、人の子の前に立つことができるように、絶えず目をさまして祈っていなさい」。”（ルカによる福音書　21：36）

[信仰コラム]　神霊な人、神霊な生活

“兄弟たちよ。わたしはあなたがたには、霊の人に対するように話すことができず、むしろ、肉に属する者、すなわち、キリストにある幼な子に話すように話した。… ”（コリント人への第一の手紙，3:1～3）

人は年齢、性別、性格、学歴、職業、出身、外見、健康の状態、人種、時代、地域、国籍その外にも多くの形態の組織や集まりの所属によって分類されられます。 ところで非常に重要なことは聖書的な分類です。 一番単純な区分はクリスチャンと非クリスチャンで分けるのです。 他に表現すれば救いを得た者と救いを得ることができなかった人、義人と罪人、神様の子と悪魔の子、天国市民と地獄の子、永生を得た者と滅亡の子で分けられます。 聖書のコリント人への第一の手紙, 2 章と 3 章ではすべての人を肉に属した人と 肉身に属した人そしてまた神霊な人この三つの種類で区分しています。

第一は、肉に属した人です。

‘肉に属した人’と言うのは神様の霊から光と真理を受けることができなくて救いを得ることができなかった自然人を意味します。 肉に属した人は十字架の道を愚鈍なことで思います。 神様が私たちに恵みで与えられたものなどを悟ることができないです。 肉に属した人の中には多くの部類があります。 神様の存在を全然認めない無神論者があります。 多くの神を認めてこれを信じる 多神論者があります。 神様がいらっしゃるかいらっしゃらないか有限な人間としては分からないと主張する不可知論者があります。 イエスキリストを信じなければならないと言うものが実際は聖書のどおりのイエスキリストではなくて混雑になって偽りされた教理と思想を信じる混合主義者がいます。 あらゆる似以非異端がここに属します。 このすべての人々は肉に属した人として救いを得ることができないです。

二番目は、肉身に属した人です。

‘肉身に属した者’を示して ‘キリストにある幼い子供’と表現しています。 聖霊で生まれかわったが成熟されることができなかった信仰状態において聖霊の引導に従って行うより自然人の本性にもっと支配を受ける人です。 そして肉身的な基準と判断して行動する人々です。 こんな人は信仰の進歩と向上がないです。 ねたみの心で働いて紛争を起こして、うらみが上手で不満な言葉を伝えるのが好きです。 肉身に属した人はきいてばかりして行わないです。

三番目は、神霊な人です。

普通の人々の生活現場を離れ発って深い山の奥や人里を離れた所で生活すると、禁慾と苦行をするのが神霊にならないです。 聖書をたくさん読んで神学を勉強するからといって神霊になるのでもないです。 神霊な人になることは人の努力になるのではなく聖霊によってなるのです。 イエスキリストを信じて聖霊で生まれかわると神霊な者になります。 もちろん生まれかわった者になったと言って皆が神霊な人ではないです。 霊的に幼い子供を免れることができなかった人は ‘肉身に属した’ 人と呼ばれるようになります。 神霊な人は礼拝に参加して神霊なお話を聞きするのを慕います。 礼拝と奉仕を重要に思って俗事に心を奪われないです。 これは世の中で引き受けたさまざまな任務をまじめに行わなければならなかったりするが世の中のに過度な欲望を持たないということを意味します。 神霊な人は聖霊の引導を受けて霊的にますます成熟して行きます。 お言葉をきいて学んだとおり行います。 神霊な眼力があってすべての事に何が神様を嬉しくするかを分かります。 どのように行うはずなのかを正しく判断します。 聖霊の引導に付いて生きて行くから価値基準が完全に聖書的です。 だから彼の判断は正確で他人の判断を受けません。

‘肉に属した人’で一生を終える人生より不幸で可憐な人はいないです。 もし彼が世の中の富貴功名をすべて享受したと言ってもそうです。 ‘肉身に属した人’は神様を嬉しくするのができる多くの歳月を浪費して虚送するようになります。 皆さんは ‘神霊な人’になって神様を嬉しくする、また与えられた歳月に永遠な意味と価値を加えて、他人の模範になる生活をなさってください。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

神様を愛する者が言う言葉

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

世の中には数え切れない多くの本があるがその中でとても特別な本があります。 その本は聖書です。 聖書が特別な本である理由を列挙すればこのようです。 第一、聖書の著者は神様です。 第二、天地創造から世の中の終末までを扱っています。 第三、神様がどんな方なのかを知らせてくれています。 第四、死が何で死んだ後にどうなるかを扱っています。 五番目、罪が何で罪人が救いを得る道が何やらか知らせてくれています。 六番目、人がどうして住みながらどうやって暮さなければならないはずなのかを教えています。 七番目、神様の約束がたくさん記録されています。 以上に列挙したものなどはただ聖書を通じてさえ分かります。

今日の本文は聖徒が期待感を持って待てる根拠になる神様の約束のお言葉です。 “神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。”. この約束のお言葉は自分がする仕事が計画のようにできない時や、苦難が持続する時にも気落ちしないように私たち心に慰労と所望を持たせてくれる神様の口約束です。 聖書に出る人物の生涯をよく見ればこのお言葉の真実さに対する累積した証拠を読めます。 旧約聖書の創世記でその生涯の記録が一番多い分量を占める偉人はアブラハムです。 そしてここに比べるに値する分量を占める人物はヨセフです。 この二つの族長の生涯は “神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている”というのを非常に極めて証明しています。

これからアブラハムとヨセフ、この二人が経験したことをよく見ます。

アブラハムはメソポタミアで神様の呼ばれを受けました。 彼は神様の命令に従順して神様が指示する所で移住しました。 甥ロッを連れて行きました。 彼の到着した所がガナアン地でした。 アブラハムはガナアン地に定着した後に財産がますます増して肉畜と銀金が豊かになりました。 アブラハムの甥ロッも家畜が多くなりました。 すると彼らの居住する地がアブラハムとロッがともにするには窮屈になってお互いに離れて暮す事にしました。 ロッはソドム城があるヨダンに移したしアブラハムはヘブロンに行きました。 ロッは信仰生活に有利な所より事業するのに有利な所を選択しました。そうしてみると結局はソドムへ入って行って暮しました。 こんなに選択したがついにロッを危機に処させました。 グドルラオメル王が連合軍を編成してソドムを含めた南側の五つ国を侵攻しました。 彼らはソドムとゴモラのすべての財物を奪取してその所に住んでいる人々を虜に捕えて連れ行きました。

アブラハムの甥ロッと彼の家族たちもソドムに暮していたから同じ災いを被ってしまいました。 この消息をきいたアブラハムは甥ロッを救出するために追撃戦をすることに決断しました。 アブラハムは家で育てた 318 人の訓練された軍隊を導いて出発しました。 隣り人々の協力も得ました。 そして兵力を分けて夜間不意打ちを敢行してグドルラオメル王の連合軍を撃破しました。 アブラハムはすべての財物を取り戻したし 虜になって行った人々を救出しました。 もちろんロッと彼の家族たちも救出しました。 アブラハムは戦利品を自分が取らないで返しました。 この事によってアブラハムはその地域社会で大きく尊敬と信頼を受けるようになりました。 この事件はすべてのものが合力して万事を益となるようになさる神様の摂理と恩寵に対してアブラハムが体験した多くの事例の中の一つです。

すべてのものが合力して万事を益となる神様の摂理の手助けを極めて経験した人の中にヨセフを除くことができないです。

ヨセフはヤゴブの１２の息子の中十一番目に生まれました。 彼は父の寵愛を独り占めしました。 それによって兄たちの憎しみを受けました。

ヨセフは自分が兄たちより高い地位にあるようになる夢を二回も見たがこれを口に出した理由で兄たちがヨセフをもっと憎みました。 ある日ヨセフは父のおつかいで兄たちが羊を飼う所に訪ねました。 兄たちは彼らを尋ねて来たヨセフをエジプトに下がる商人に売ってしまいました。 ヨセフはエジプト王ところの警護大将ボディバルの家に売られました。 ヨセフは任せられたことをとてもまじめに行いました。ボディバル長官はヨセフを信任して家すべての事を管理する総責任者で立てました。 ところでボディバル長官の妻に謀陥にあって悔しい謀陥を着せられて監獄に閉じこめられてしまいました。 ある日王の食卓でお酒を注いだ僕の長と王の食べ物を準備した僕の長が監獄に閉じこめられるようになりました。 数日後に二りの僕の長が夢を見て心配するとヨセフが彼らに夢を解釈してくれました。 ヨセフの夢合せどおりお酒引き受けた僕の長が三日後に復職されました。 その後この年が経ちました。 エジプト王が夢を見たがその夢があまりにも鮮やかで心が煩悶してエジプトの魔術師と知恵者を皆呼び入れてその夢を解釈するように言い付けました。しかし彼らは到底に解釈することができなかったです。 その時王のお酒引き受けた僕の長がヨセフを思い浮かびました。 彼は王にヨセフをすすめました。

エジプト王ところでは直ちにヨセフを連れて来させました。 ヨセフは王に “パロが二回も重なって夢を見たことは神様がこの事を決めてその事を急いで行おうとなさるからです。”と言いました。 ヨセフは王の夢が 7 年の豊年後に 7 年の飢饉が近づくことを知らせてくれることであると解釈して災難に対する賢明な対処方法まで教えてあげました。 王が感嘆して歎服して直ちにヨセフをエジプトの総理席に座らしました。 ヨセフは神様がくださった夢の解釈どおり 7 年豊年の間糧穀を限りなく保存したし 7 年凶年が始まるとその糧穀を放出しました。 凶年はエジプトだけではなく中近東地域一帯を荒しました。

糧穀が足りなくなったヤゴブは彼の息子にエジプトに行って糧穀を買って来るように指示しました。 そして結局ヨセフの兄たちはエジプトの総理が彼らが売ってしまったヨセフであることが分かるようになりました。 歳月が経って父ヤゴブが死にました。 葬礼を終えて帰って来たヨセフの兄たちは自分たちが過去にヨセフにつけた罪によって仕返しにあわないか気づかって人をヨセフに送って彼らの意を伝達しました。 ヨセフは兄たちに答えるのを “あなたがたはわたしに対して悪をたくらんだが、神はそれを良きに変らせて、今日のように多くの民の命を救おうと計らわれました。それゆえ恐れることはいりません。わたしはあなたがたとあなたがたの子供たちを養いましょう」。彼は彼らを慰めて、親切に語った。”（創世記, 50:20,21）しました。 ヨセフがあらゆる難しいことに会っても平常心を持って乗り越えて行った理由を明らかにしたのです。 “あなたがたはわたしに対して悪をたくらんだが、神はそれを良きに変らせて”という言葉は “神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている”と言うお言葉と一脈相通じます。

“神様を愛する者”は “すなわち、ご計画に従って召された者たち”と言えます。 神様のご計画によって召されるのを着なくては神様を愛する者がなれないです。 “神様を愛する者すなわちご計画に従って召された者たち”と言いました。 私たちが神様を愛する前に先に神様が私たちを救いしようと決心したし私たちを愛してイエスキリストの中に召されたという意味です。 私たちが神様を愛するようになったことは先に神様の計画と神様の愛が私たちに作用したからです。神様を愛する者には彼が神様を愛するという証拠があります。 第一、神様を愛する者はイエスキリストのみを救世主で信じます。 第二、神様を愛する人はイエスキリストの神様だけ仕えます。 第三、神様を愛する人はイエスキリストを伝えます。 第四、神様を愛する人は神様の面倒を見られるのを信じます。 五番目、神様を愛する人は神様の仕事に力をつくしながら生きて行きます。

結論を結びます。 “神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さること。” このことを確かに分かる聖徒はすべての事を感謝することで神様に申し上げて任せます。 いつも信じるのを言います。 待ちながらほめたたえます。 “私たちが分かるが” 神様を愛する者ご計画に従って召された者たちにはすべてのもの万事を益となるようにして下さる。私たちのこれを知る根拠は三種類です。 第一、神様が約束したからです。 第二、聖書に記録された人々の経験を通じたからです。 第三、自分の経験を通じたからです。 “私たちが推測するが”ではないです。 “私たちが分かるが”です。 “私たちが希望するが”ではないです。 “私たちが分かるが”です。

皆さんは “神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。” と言う人々の中で一人であると願いします。